



# ツバル

Tuvalu

2008年1月現在



## 一般事情

- 1.面積 25.9平方キロメートル
- 2.人口 9,652人(2006年、太平洋共同体事務局)
- 3.首都 フナフティ(4.3千人)
- 4.民族 ポリネシア系人種が殆んど。  
その他若干のミクロネシア系人種がいる。
- 5.言語 英語及びツバル語(ポリネシア系言語でサモア語に近い)
- 6.宗教 主としてキリスト教(プロテスタント)、  
殆んど国民がツバル教会に属する。
- 8.通貨 豪州ドル  
為替レート 1豪ドル = 105.85円(2007年11月)  
補助通貨単位 100セント = CENT/S

## 9.査証(ビザ)

- 10.在留邦人数 13名(2006年10月1日現在)
- 11.在日当該国人数 1名(2006年末現在)
- 12.電源 - V - Hz
- 13.国際電話 国番号 688 国際通話コード -
- 14.シガレット 小売価格 - US\$ (20本当り)  
税率 - %  
製造数量 - (百万本/年)  
シガレットメーカー

コンセント・タイプ

## 15.略史

| 年月         | 略史                      |
|------------|-------------------------|
| 1568年      | スペイン人メンダナ、エリス諸島のヌイ島発見   |
| 1892年      | ギルバート・エリス諸島として英国の保護領となる |
| 1915年      | ギルバート・エリス諸島として英国の植民地となる |
| 1975年      | ギルバート諸島と分離、ツバルと改名       |
| 1978年10月1日 | 独立                      |
| 1981年      | 独立後初の総選挙によりプアプア政権成立     |
| 1989年      | 総選挙によりバエニウ政権成立          |
| 1993年      | 総選挙によりラタシ政権成立           |
| 1999年      | イオナタナが首相に就任             |
| 2000年9月    | 国連加盟                    |
| 2000年12月   | イオナタナ首相が逝去              |
| 2001年2月    | ルカが首相に就任                |
| 2001年12月   | タラケが首相に就任               |
| 2002年8月    | ソポアングが首相に就任             |
| 2004年10月   | トアファが首相に就任              |
| 2006年8月    | イエレミアが首相に就任             |

16.在外大使館・領事館 なし

## 17.駐日大使館・領事館

在東京ツバル名誉総領事館 管轄区域:日本全土  
 Honorary Consulate-General of Tuvalu in Tokyo  
 〒107-0061 港区北青山1丁目2-3 青山ビル13階  
 電話:03-5411-5967

## 政治体制・内政

- 1.政体 立憲君主制
- 2.元首 エリザベス二世女王(英国女王。但し、通常は総督が王権を代行)  
総督:フィロイメア・テリト師(Reverend Filoimea Telito)(2005年4月15日就任、任期4年)
- 3.議会 一院制、15議席、任期4年(解散あり)
- 4.政府 首相兼外務・労働大臣 アピサイ・イエレミア(Apisai Ielemia)
- 5.内政

ツバルには政党は存在せず、誰を首相として推すかにより派閥が形成される。  
 1993年の総選挙で誕生したラタシ政権以降現在まで9つの政権の殆どにおいて、その勢力が反対派と伯仲している。

2002年8月、首相に選出されたソポアングも2004年8月に内閣不信任案が可決された。  
 ソポアング首相は議員及び首相を辞任し、10月の補欠選挙で再選されたが、首相返り咲きは果たせず、トアファ首相代行が正式に首相に選出された。

トアファ政権はこれまで安定していると思えたが、2006年8月の総選挙では4名の閣僚が落選し、その後の首相選挙を経てイエレミア氏が首相に就任し、内閣は総入れ替えとなった。

## 外交・国防

### 1. 外交基本方針

「平和愛好国とのみ国交を持つ」との方針のもと、従来関係の深い豪州やNZ及び周辺の島嶼国のみなら

### 2. 軍事力

軍隊なし

## 経済

### 1. 主要産業

農業及び漁業が主要な産業であるが、自給自足的な部分が大きい。  
その他、若干の建設業、サービス業等。

### 2. GDP

27.5百万豪ドル(2002年、ADB)

### 3. 一人当たりGDP

2,478豪ドル(2002年、ADB)

### 4. 経済成長率

15.4%(2004年、世界銀行)

### 5. 物価上昇率

3.8%(2006年、ADB)

### 6. 総貿易額(2006年、世界銀行)

(1) 輸出 0.18百万ドル

(2) 輸入 15.50百万ドル

### 7. 通貨

豪州ドル

### 8. 為替レート

1豪ドル = 105.85円(2007年11月)

### 9. 経済概況

資源に乏しく、国家財政の収入源は、入漁料と外国漁船への出稼ぎ船員等による海外送金が主で、財政赤字をツバル信託基金(ツバル、英、豪、NZの拠出により、1987年に設立)の運用益から補填していた。

同信託基金はこれまで健全な運営をしていたが、2001年は、米経済の減速、米株式市場の低迷、米ドルに対する豪ドルの低下、豪経済の低迷等の悪影響を受け実質マイナス運用となった。

米国のインターネット関連会社に貸与したドメインコード「tv」の使用権の契約料が1999年から入ることとなったが、右使用権に係る収入は毎年変動が大きいことから、今後限られた収入を如何に運用していくかが課  
これら主要国家財源の制約がある中、政府は政府補助金や特別開発費等の財政支出の大幅な削減と財政の透明性の向上等に努めている。

## 経済協力

### 1. 我が国の援助実績

|            | 2005年度        | 2005年度までの累計 |
|------------|---------------|-------------|
| (1) 有償資金協力 | なし            | なし          |
| (2) 無償資金協力 | 10.28億円       | 51.26億円     |
| (3) 技術協力   | 0.14億円        | 11.35億円     |
|            | (但し、JICA実績のみ) |             |

### 2. 主要援助国

(百万米ドル、2004年、DACベース)

(1) 豪(2.9)、(2) NZ(1.2)、(3) 日本(0.7)

## 二国間関係

### 1. 政治関係

(1) 1978年10月 我が国はツバル独立と同時に国家承認。

(2) 1979年4月30日 外交関係開設

### 2. 経済関係

(1) 対日貿易(2006年、財務省)

輸出 なし

輸入 16.5億円 主要品目 工業製品

(2) 我が国からの直接投資 なし

(3) 政府間漁業協定(1986年発効)

(4) 民間漁業協定(1990年発効、1991年失効。その後1994年に再開)

### 3. 在留邦人数

13名(2006年10月1日現在)

### 4. 在日ツバル人

1名(2006年末現在)

### 5. 要人往来

(1) 往(2006年以降)

| 年月      | 要人名     |
|---------|---------|
| 2006年8月 | 小池環境大臣  |
| 2007年9月 | 石原東京都知事 |
| 2008年1月 | 鴨下環境大臣  |

(2) 来(1986年以降)

| 年月       | 要人名  |
|----------|--|
| 1986年    | ロパティ商業・天然資源大臣                              |
| 1988年    | プアプア首相                                     |
| 1989年    | レウベナ総督(大喪の礼)、シオネ天然資源・内務大臣                  |
| 1990年    | セルカ副首相兼大蔵・商業大臣(花博賓客)、<br>パエニウ首相(即位の礼)      |
| 1993年    | パエニウ首相                                     |
| 1994年    | タウシ副首相兼天然資源開発・自治・地方開発相                     |
| 1995年    | ラタシ首相                                      |
| 1996年    | タウシ副首相兼天然資源開発・自治・地方開発相                     |
| 1997年    | パエニウ首相(日・SPF首脳会議及び非公式)                     |
| 2000年    | イオナタナ首相<br>(太平洋・島サミット、故小淵元総理葬儀へ特使として参列)    |
| 2001年3月  | ケリシアノ天然資源・エネルギー環境大臣                        |
| 2001年6月  | ルカ首相                                       |
| 2002年2月  | テオ天然資源・エネルギー環境大臣                           |
| 2003年3月  | トアファ副首相兼公共事業・通信・運輸大臣(水フォーラム)               |
| 2003年5月  | ネレソネ官房長官(第3回太平洋・島サミット)                     |
| 2003年12月 | タウシ国会議長                                    |
| 2003年12月 | ソポアンガ首相                                    |
| 2005年2月  | テオ天然資源・土地担当相                               |
| 2005年8月  | パエニウ大蔵・経済企画・産業大臣(博覧会賓客)                    |
| 2006年5月  | ネレソネ官房長官                                   |
| 2006年5月  | トアファ首相(第4回太平洋・島サミット)                       |
| 2007年8月  | シオネ国会議員(故宮澤元総理葬儀へ特使として参列)                  |
| 2007年12月 | イエレミア首相<br>(第1回アジア・太平洋水サミット(於:大分)及び実務訪問賓客) |

6.二国間条約・取極

日・ツバル漁業協定(1986年)

7.外交使節

(1) 駐ツバル日本国大使

滑川雅士駐フィジー大使が兼任。

(2) 駐日ツバル大使

任命されていない(注:東京に在京ツバル名誉総領事館を開設している)